

A serene landscape photograph of a lake at dawn or dusk. A traditional Japanese torii gate stands in the water on the left, its silhouette reflected in the calm surface. In the middle ground, three ducks are swimming. The background shows misty mountains and a few buildings, creating a peaceful and atmospheric setting. The title text is overlaid in a bold, yellow font.

ソフトバレーボールの歴史 および普及の意義

- 2025年7月27日(日) 大分県豊後大野市大原総合体育館
- 公益財団法人 日本バレーボール協会 公認講師 前田 敏博

競技種別 競技人口 ランキング

第5位

第4位

第3位

第2位

第1位

世界



約2.6億人



約3.0億人



推定3億人



約4.5億人



約5.0億人

国内



約36万人



約42万人



約43万人

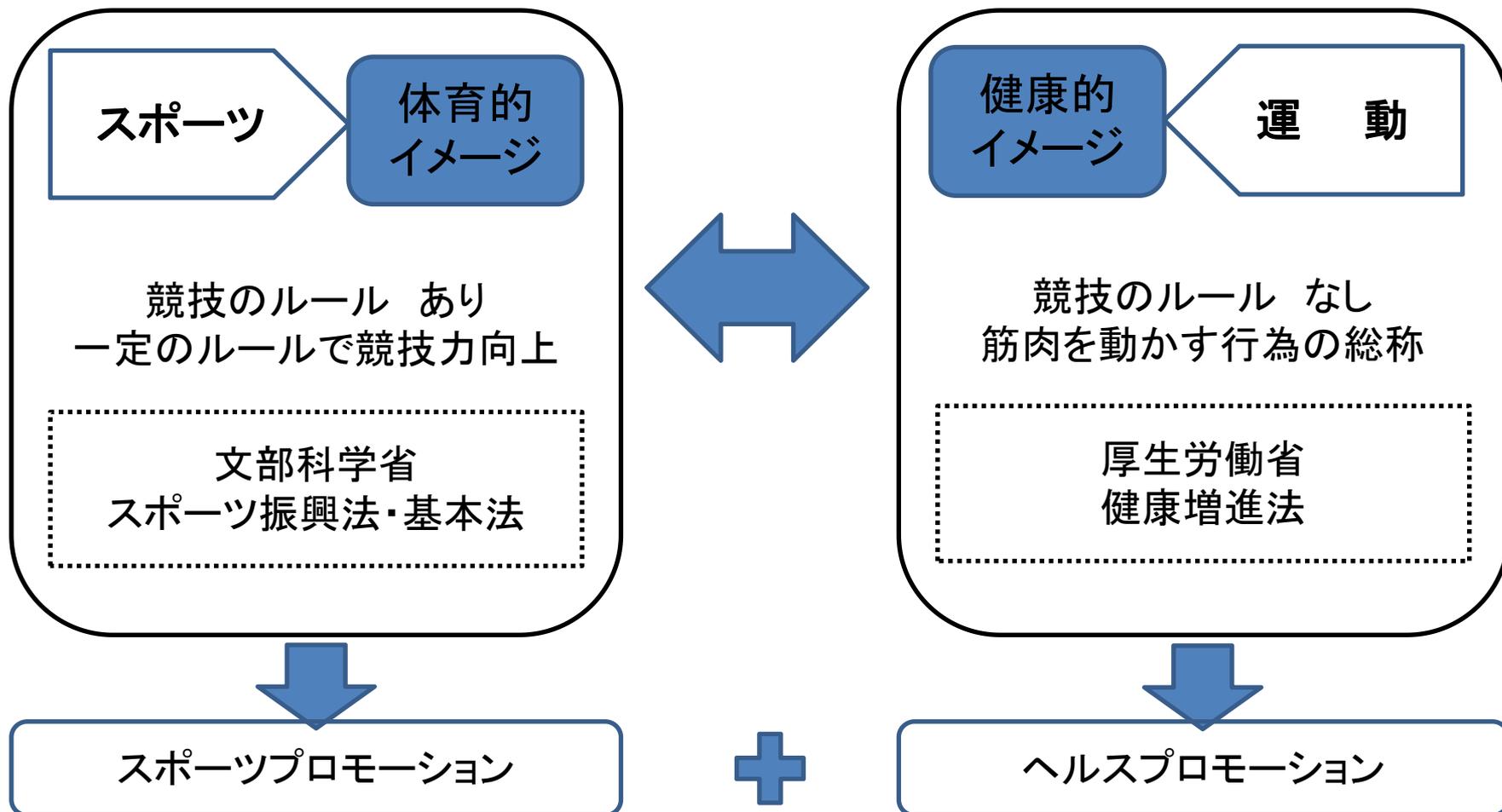


約65万人



約92万人

国民のスポーツ動向



「振興」は、何となく、やらされ感が『当事者感』の重要性
スポーツと人が直接かかわる実感や受けとめ方

ソフトバレーボール誕生の歴史的背景

【S40年代】 東京五輪を機に国内のスポーツ人口の急激な増加
スポーツ行政の取り組みの推進、国民のスポーツへの関心の高まり

【S50年～60年代】

国民スポーツニーズの多様化、ニュースポーツの台頭
競技スポーツ ⇒ 軽運動スポーツ

「いつでも」・「どこでも」・「だれでも」のスポーツ
「生涯スポーツ」「みんなのスポーツ」の浸透・定着化

これまでの6・9人制バレーボールのイメージから脱却し
誰もが親しみやすい新しいバレーボール型ゲームを考案
生涯スポーツとしての「ソフトバレーボール」の誕生！

ソフトバレーボールのねらい

生涯スポーツ時代にふさわしい

バレーボール

幼児から高齢者までライフステージで行える

バレーボール

世代を超え家族や男女ミックスで楽しめる

バレーボール

69人制から脱しつつも69人制の特性を活かしたバレーボール

【生涯スポーツは？どんなもの】

◆フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』

生涯を通じて、健康の保持・増進やレクリエーションを目的に「だれもが、いつでも、どこでも気軽に参加できる」スポーツをいう。

◆日本大百科全書(ニッポニカ)

生涯にわたってスポーツ活動を楽しみながら健康増進を図るとともに、スポーツを通して人生を豊かなものにする事。

◆百科事典マイペディア

国民すべてが老若男女を問わず、健康の維持、増進および人生の楽しみ、喜びとしてスポーツを行うこと。

ソフトバレーボールの特徴

- ① **ネット型ゲーム** ⇒ **コート大きさ・ネットの高さの工夫**
バレーボールの特性が活かされている
- ② **ボールの工夫** ⇒ **大きく・軽く・柔らかく**
安全に・簡単に、誰でも・いつでも・どこでも、というバレーボールの特徴が一層
明確になる様工夫されている
- ③ **4人制** ⇒ **フリーポジション制の導入**
多様な楽しみ方が出来る
- ④ **適切な運動量と安全性** ⇒ **すべての競技者に等しく**
プレー出来るチャンスが用意されている
(ローテーション制・15点ラリーポイント・オーバーネット・パッシングの禁止)
- ⑤ **独自の競技性** ⇒ **6・9人制へのリードアップゲームの役割**
- ⑥ **既存の施設の利用** ⇒ **コート・用具の活用が出来る**
(バドミントンコート・支柱・ネット)

最近の傾向と課題

生涯スポーツだが
発展性のある競技ゆえに
競技志向の高まり
ルールの複雑化など・・・課題の発生

競技志向

ソフトバレーの本来あるべき姿 = 生涯スポーツ

コロナの影響
だけではない

ソフトバレーボール愛好者人口の推移

MRS登録状況 (全国)	2009(H20) ※ピーク時	2014(H25)	2019(R元)	2024(R6)
チーム登録数	2,182	1,852	1,152	911 前年度対比 +10
メンバー登録数	20,587	17,240	10,152	5,397 前年度対比 -1,141

『MRS登録者の減傾向』、『愛好者年齢の高齢化』など課題も

2024年度 JVA-MRS登録状況

①チーム・選手登録実績

年度	2024年度	2023年度	2018年度
チーム登録合計	911	901	1,415
前年度比較	10	104	-
選手登録合計	5,397	6,538	12,969
前年度比較	-1,141	1,190	-

2024年度大分県実績 … チーム登録 10チーム、選手登録： 68名

②資格別登録実績

年度	2024年度	2023年度
リーダー	946	1,047
前年度比較	-101	499
マスターリーダー	218	213
前年度比較	5	41
名誉マスターリーダー	31	31
前年度比較	0	8

2024年度大分県実績 … リーダー登録： 6名、マスターリーダー登録： 2名

日本ソフトバレーボール連盟

組織

1990年 日本ソフトバレーボール連盟発足

1993年 全国組織改組 日本ビーチ&ソフトバレーボール連盟発足

1997年 日本ビーチバレーと日本ソフトバレー連盟に独立

47都道府県に連盟組織 2018年度登録状況 チーム1,415 競技者12,969

専門委員会

企画委員会 正副会長・正副理事長・専門委員長等で組織

総務委員会

情報管理委員会

競技委員会

審判規則委員会

指導普及委員会

広報委員会

コンプライアンス委員会

特別委員会

全国大会

- 1988年 全国スポーツ・レクリエーション祭（スポレク祭）
 - 1990年 全国ソフトバレー・ファミリーフェスティバル
 - 1994年 全国ソフトバレー・シルバーフェスティバル
 - 1999年 全国ソフトバレー・レディース交流大会
 - 2001年 全国ソフトバレー・メンズ交流大会
 - 2002年 全国ソフトバレー・レディース&メンズ交流大会
 - 2012年 全国ソフトバレー・スポレクフェスティバル
 - 2016年 全国ソフトバレー・レディースフェスティバル
全国ソフトバレー・フリーフェスティバル
- 全国健康福祉祭（ねんりんピック 60才以上）

2025年度全国大会

- ①全国シルバーフェスティバル 山口県山口市（9/3～5）
- ②全国レディースフェスティバル 北海道函館市（9/17～19）
- ③全国スポレクフェスティバル 京都府京都市（11/21～23）
- ④ねんりんピック 岐阜県山県市（9/18～20）

2025年度九州ブロックフェスティバル 佐賀県佐賀市（11/8～9）